

令和元年度博物館総合調査の結果から

日本の博物館の運営実態と課題

令和3年1月13日

文化審議会博物館部会報告メモ

(日本博物館協会 半田昌之)

- 1 博物館総合調査の概要
- 2 現状における日本の博物館の典型的な姿
- 3 経年変化から見える主な傾向
- 4 現場が掲げる現状の課題

1 博物館総合調査の概要

- ・全国の博物館を対象とした博物館の管理・運営全般についての総合的な調査(調査表送付によるアンケート形式で悉皆調査ではない)。
- ・昭和49(1974)年から実施し、今回で10回目。
- ・平成9(1997)年以降、現在の形式での調査となり、今回で5回目。
- ・令和元年度調査
 - ・調査対象:4,178施設
 - ・有効回答:2,314 有効回答率:55.4%

2 現状における日本の博物館の典型的な姿 (中央値、最頻値、平均値から)

- ・常勤職員数：3人 (内、学芸員資格保有者数：1名)
 - 常勤の館長がいない施設：40.5%
 - 館長の職務権限が明確でない施設：45.8%
 - 登録：33.4%、相当：28.7%、類似：54.5%
 - 学芸員を配置していない施設：16.5%
 - 登録：1.6%、相当：4.2%、類似：26.3%
- ・年間入館者数 中央値：14,464人 (最頻値：5,000人未満)
- ・主たる建物の建築年 中央値：1988年 (平均値：1979年)

3 経年変化から見える主な傾向

「第2章 博物館の変化」から見る傾向

表2-3 力を入れている活動（全体／時系列比較）（Q2-1）（%）

	平成9年 (N=1,891)	平成16年 (N=2,030)	平成20年 (N=2,257)	平成25年 (N=2,258)	令和元年 (N=2,314)
一番目					
1. 調査研究活動	7.8	7.3	7.0	6.8	6.8
2. 収集保存活動	17.1	11.1	9.6	10.0	8.1
3. 展示活動	59.5	61.6	63.0	62.2	64.3
4. 教育普及活動	12.4	15.8	17.2	17.3	18.0
5. レクリエーション	1.6	2.2	1.5	2.1	1.9
無回答	1.6	2.0	1.7	1.6	0.8
二番目					
1. 調査研究活動	13.4	11.6	11.1	11.1	11.6
2. 収集保存活動	30.5	24.8	23.9	21.2	20.9
3. 展示活動	22.7	22.2	21.8	24.0	21.7
4. 教育普及活動	26.2	32.4	34.6	36.9	38.9
5. レクリエーション	3.1	3.5	3.5	3.9	4.6
無回答	4.2	5.5	5.2	2.9	2.4
三番目					
1. 調査研究活動	27.3	25.1	27.9	26.4	28.3
2. 収集保存活動	22.6	26.9	25.4	28.0	26.2
3. 展示活動	9.5	8.6	8.5	7.5	8.6
4. 教育普及活動	26.9	23.4	21.8	24.3	22.1
5. レクリエーション	6.2	6.7	7.0	8.5	10.5
無回答	7.5	9.2	9.4	5.4	4.2

表2-5 公立館の所管（公立館／時系列比較）（Q3-2）（%）

	平成9年 (N=1,354)	平成16年 (N=1,489)	平成20年 (N=1,663)	平成25年 (N=1,701)	令和元年 (N=1,654)
1. 教育委員会	76.9	74.2	69.3	67.2	64.4
2. 首長部局(*1)	21.9	21.6	23.6	26.4	30.2
3. 教育委員会と首長部局の共管(*2)	—	1.7	1.5	2.7	2.7
無回答	1.3	2.5	5.7	3.7	2.7

注) *1：平成9年調査では、「その他」として質問

*2：平成9年調査では、選択肢にしていない

表 2-6 公立館における指定管理者制度の導入状況（公立館／時系列比較）（Q 3-3）（%）

	平成 16 年 (N=1,489)	平成 20 年 (N=1,663)	平成 25 年 (N=1,701)	令和元年 (N=1,654)
1. 導入されている	2.0	23.0	27.0	28.2
			68.0	70.0
導入されていない	83.1	68.9	導入が決まっている	0.9
			導入が検討されている	5.6
			導入する予定はない	60.0
			一度、導入されたが、その後、直営になった	1.5
2. 導入が決まっている	0.2	3. 導入が検討されている	4.2	
4. 導入する予定はない	63.4	5. 一度、導入されたが、その後、直営になった	2.2	
その他	-	0.4	1.8	0.0
無回答	14.9	7.7	3.2	1.7

表 2-11 入館者数（全体／時系列比較）（Q 9-1）（%）

	平成 9 年 (N=1,891)	平成 16 年 (N=2,030)	平成 20 年 (N=2,257)	平成 25 年 (N=2,258)	令和元年 (N=2,314)
5 千人未満	21.5	24.0	26.5	25.3	25.7
5 千人～1 万人未満	13.3	13.4	13.0	13.6	14.2
1 万人～3 万人未満	22.2	23.1	23.7	23.3	22.9
3 万人～5 万人未満	11.8	10.2	8.9	8.5	7.3
5 万人～10 万人未満	11.1	11.0	9.7	9.6	8.8
10 万人～20 万人未満	8.9	8.2	7.9	8.0	7.9
20 万人～30 万人未満	3.1	3.5	3.1	3.3	3.3
30 万人～50 万人未満	3.0	2.6	2.7	2.5	2.8
50 万人～100 万人未満	2.4	1.5	1.9	1.8	2.1
100 万人以上	1.3	0.6	0.9	1.0	0.7
無回答	1.5	1.8	1.6	3.2	4.3

注) 平成 20 年調査までは、各調査前年度の入館者数をカテゴリー別に調査／平成 25 年調査以降は、実数を調査

表 2-16 資料購入予算（全体／時系列比較）（Q 11-6）（%）

	平成 16 年 (N=2,030)	平成 20 年 (N=2,257)	平成 25 年 (N=2,258)	令和元年 (N=2,314)
予算はなかった	52.6	56.6	52.7	60.5
100 万円未満	19.8	20.6	28.9	22.5
100 万円以上、500 万円未満	11.4	9.4	8.1	7.4
500 万円以上、1,000 万円未満	4.1	2.9	1.7	2.1
1,000 万円以上、3,000 万円未満	3.6	2.7	1.6	1.2
3,000 万円以上、5,000 万円未満	1.3	0.7	0.5	0.5
5,000 万円以上、1 億円未満	0.8	0.5	0.4	0.3
1 億円以上	0.9	0.5	0.3	0.6
無回答	5.5	6.1	5.8	5.0

注) 各調査前年度の状況

4 現場が掲げる現状の課題

「第3章 課題」から見る現状の課題＝今後検討すべき重点事項

(1) 各博物館の課題

「外国人向けの対応」・「ICTを利用した新しい展示方法の導入」を課題とする館が8割以上。「財政面で厳しい」・「施設の老朽化」・「職員数が不足」等、基本的課題が引続き未解決。厳しい運営環境の中で、各館の特色を活かした教育普及の取組の成果が上がりつつある。

表3-21-1 各博物館の問題点「Q23-1」

●あてはまる、まああてはまるの合計が50%を超えた項目 (41項目中31項目)	(%)	前回調査からの増減(%)
C-b) 外国人向けの対応が不十分である。	84.5	-
D-e) ICTを利用した新しい展示方法が導入できていない	80.6	-0.4
A-i) 財政面で厳しい	79	-1
E-e) ウェブサイト等での資料情報公開が不十分	77.5	-
G-b) 施設設備が老朽化	75.2	8.1
E-d) 資料や資料目録のデジタル化できていない	73.9	2.4
B-a) 職員数が不足	73.2	2
D-a) 調査研究が進んでいない	72.3	1.3
E-g) 収蔵スペースが不足	72.1	-
C-a) 入館者が確保できていない	71.4	4.5
E-c) 必要な資料整理が進んでいない	70.9	14.3
D-b) 調査研究活動の公開ができていない	65.9	-
G-a) 施設が手狭	65.8	3.1
G-c) ミュージアム・ショップ、レストラン等の施設が不十分	65.2	4.2
A-e) 中長期的な目標・計画が立てられていない	64.3	0
C-c) 高齢者・身障者への対応が不十分	63.6	7.1
B-c) 職員の研修が不足	63.6	2.1
E-b) 新たな資料修復が充分できていない	63.4	-
A-h) 広報・PRが十分でない	63.1	-
E-a) 新たな資料を入手しにくくなっている	62.7	-1.4
F-b) 大学・研究機関との連携が不十分	62.3	0.4
A-j) 防災対策・危機管理への取組が不十分	61.7	-2.9
F-e) 社会教育関係団体・企業等との連携協力が不十分	61.1	1.5
F-c) 他館(外国を含む)との交流が少ない	59.6	-3
F-d) 図書館等との連携・協力が不十分	59	-1.7
A-f) 館の評価が実施できていない	58.6	2.1
D-c) 常設展示の更新ができていない	58.4	0.4
A-g) 館の評価の結果が活用できていない	58	3
E-f) 資料を良好な状態で保存することが困難	57	1.4
A-d) 使命・目的、運営情報の発信が不十分	56.6	2.4
B-b) 学芸系職員の力量が発揮できていない	52.5	4.6
●あてはまる、まああてはまるが50%以下の項目 (41項目中10項目)		
F-a) 学校教育との連携が不足	49.2	-1.6
C-d) 館の特色がうまく伝えられていない	46.3	-
A-b) 利用者のニーズに応えられていない	45.1	-2
D-f) 教育普及活動が十分できていない	44.6	-2.2
A-c) 地域の課題に十分応えられていない	43.5	-0.5
G-d) 駐車場が不足	38.7	3.9
G-e) 施設の耐震化対策が不十分	38.6	-12
D-g) 館の特色がうまく出せていない(事業展開で)	37.2	-
A-a) 館の特色がうまく出せていない(経営的側面で)	32.2	1
D-d) 特別(企画)展が開催できない	30.8	-1.8

表3-21-2 自館の問題点(館種別)「Q23-1」

(%)

館種 順位	総合 (N=129)	郷土 (N=248)	美術 (N=497)	歴史 (N=1,108)	自然史 (N=101)	理工 (N=102)	動物園 (N=41)	水族館 (N=44)	植物園 (N=34)	動水植 (N=10)
1	外国人向けの対応が不十分	外国人向けの対応が不十分	外国人向けの対応が不十分	外国人向けの対応が不十分	外国人向けの対応が不十分	外国人向けの対応が不十分	財政面の厳しい状況	施設設備の老朽化	財政面の厳しい状況	外国人向けの対応が不十分
	88.4	90.3	82.7	84.3	80.2	84.3	87.8	81.8	76.5	80.0
2	必要な資料整理が進まない	ICTを利用した新展示方法の未導入	ICTを利用した新展示方法の未導入	ICTを利用した新展示方法の未導入	財政面の厳しい状況	施設設備の老朽化	外国人向けの対応が不十分	外国人向けの対応が不十分	施設設備の老朽化	財政面の厳しい状況
	85.2	89.1	78.9	81.0	79.2	76.5	87.6	72.7	76.4	80.0
3	ICTを利用した新展示方法の未導入	ウェブサイト等を使った資料情報公開が不十分	財政面の厳しい状況	ウェブサイト等を使った資料情報公開が不十分	資料・資料目録のデジタル化が不十分	職員不足	ICTを利用した新展示方法の未導入	財政面の厳しい状況	外国人向けの対応が不十分	ICTを利用した新展示方法の未導入
	84.5	86.7	77.3	79.0	79.2	75.5	83.0	68.2	73.5	80.0
4	財政面の厳しい状況	財政面の厳しい状況	入館者の確保が不十分	財政面の厳しい状況	ICTを利用した新展示方法の未導入	財政面の厳しい状況	ミュージアムショップ等の充実が不十分	職員不足	職員不足	職員不足
	84.5	84.3	76.1	78.7	78.3	73.5	78.0	68.2	70.6	80.0
5	施設設備の老朽化	資料・資料目録のデジタル化が不十分	ウェブサイト等を使った資料情報公開が不十分	資料・資料目録のデジタル化が不十分	ウェブサイト等を使った資料情報公開が不十分	ICTを利用した新展示方法の未導入	施設設備の老朽化	資料・資料目録のデジタル化が不十分	入館者の確保が不十分	施設設備の老朽化・高齢者・障害者対応が不十分
	83	83.5	75.8	75.8	78.2	72.6	77.8	68.2	68.7	80
6	収蔵スペースが不足	施設設備の老朽化	調査研究活動が不十分	施設設備の老朽化	施設設備の老朽化	常設展示の更新が不十分	職員不足	ウェブサイト等を使った資料情報公開が不十分	ICTを利用した新展示方法の未導入	施設が手狭
	82.9	82.7	74.1	73.3	78.2	68.6	73.2	68.1	64.7	70.0
7	職員不足	必要な資料整理が進まない	職員不足	収蔵スペースが不足	職員不足	ミュージアムショップ等の充実が不十分	調査研究活動の公開ができていない	調査研究活動が不十分	ミュージアムショップ等の充実が不十分	防災対策・危機管理が不十分
	82.1	81.5	73.6	73.2	77.2	64.7	68.3	65.9	64.7	60.0
8	資料・資料目録のデジタル化が不十分	収蔵スペースが不足	施設設備の老朽化	調査研究活動が不十分	必要な資料整理が進まない	職員の研修が不十分	必要な資料整理が進まない	ICTを利用した新展示方法の未導入	高齢者・障害者対応が不十分	入館者の確保が不十分
	78.3	79.8	71.2	72.6	76.2	63.7	68.3	65.9	58.8	60.0
9	ウェブサイト等を使った資料情報公開が不十分	入館者の確保が不十分	収蔵スペースが不足	入館者の確保が不十分	常設展示の更新が不十分	資料・資料目録のデジタル化が不十分	収蔵スペースが不足	必要な資料整理が進まない	資料・資料目録のデジタル化が不十分	ウェブサイト等を使った資料情報公開が不十分
	77.6	79.8	71.0	71.6	71.3	62.8	68.3	65.9	55.9	60.0
10	調査研究活動が不十分	調査研究活動が不十分	目録のデジタル化が不十分	必要な資料整理が進まない	調査研究活動が不十分	ウェブサイト等を使った資料情報公開が不十分	入館者の確保が不十分	収蔵スペースが不足	他の博物館との交流が少ない	収蔵スペースが不足
	77.6	78.7	68.2	71.6	66.4	62.7	65.9	63.7	52.9	60.0
10							調査研究活動が不十分		広報・PRが不十分	
							65.9		52.9	
10							新たな資料入手が困難			
							65.9			

表3-21-3 自館の問題点(設置者別)「Q23-1」

(%)

館種 順位	国立 (N=63)	都道府県立 (N=343)	市立 (N=1,003)	町村立 (N=312)	公益法人 (N=425)	会社個人等 (N=168)
1	職員不足	外国人向けの対応が不十分	施設設備の老朽化	外国人向けの対応が不十分	外国人向けの対応が不十分	ICTを利用した新展示方法の未導入
	79.4	84.3	90.9	90.7	79.0	72.0
2	財政面の厳しい状況	財政面の厳しい状況	外国人向けの対応が不十分	ICTを利用した新展示方法の未導入	ICTを利用した新展示方法の未導入	外国人向けの対応が不十分
	74.6	82.8	87.9	85.9	72.5	71.5
3	外国人向けの対応が不十分	施設設備の老朽化	財政面の厳しい状況	ウェブサイト等を使った資料情報公開が不十分	ウェブサイト等を使った資料情報公開が不十分	調査研究活動の公開ができていない
	73.1	81.6	86.8	83.4	69.6	65.7
4	施設が手狭	職員不足	ICTを利用した新展示方法の未導入	財政面の厳しい状況	財政面の厳しい状況	調査研究活動が不十分
	69.8	78.7	85.7	80.2	65.2	65.6
5	収蔵スペースが不足	ICTを利用した新展示方法の未導入	ウェブサイト等を使った資料情報公開が不十分	調査研究活動が不十分	高齢者・障害者対応が不十分	必要な資料整理が進まない
	65.0	78.7	84.4	79.5	65.2	63.1
6	施設設備の老朽化	収蔵スペースが不足	調査研究活動が不十分	職員不足	図書館等との連携・協力が不十分	図書館等との連携・協力が不十分
	65.0	75.0	77.9	77.9	64.7	61.9
7	広報・PRが不十分	必要な資料整理が進まない	収蔵スペースが不足	施設設備の老朽化	ミュージアムショップ等の充実が不十分	ウェブサイト等を使った資料情報公開が不十分
	63.5	70.2	77.3	77.9	64.3	61.9
8	ICTを利用した新展示方法の未導入	調査研究活動が不十分	職員不足	必要な資料整理が進まない	収蔵スペースが不足	施設設備の老朽化
	63.5	67.9	77.1	77.2	64.0	57.7
9	必要な資料整理が進まない	ミュージアムショップ等の充実が不十分	必要な資料整理が進まない	収蔵スペースが不足	調査研究活動が不十分	社会教育関係団体等との連携が不十分
	57.2	66.2	74.1	74.4	63.3	57.2
10	職員研修の不足	施設が手狭	ミュージアムショップ等の充実が不十分	職員の研修が不十分	施設設備の老朽化	職員不足
	57.2	59.9	73.3	72.1	62.9	54.8

表3-21-4 自館の問題点(法区分別)「Q23-1」

館種 順位	登録 (N=632)	相当 (N=268)	類似 (N=1,414)	(%)
1	外国人向けの対応が 不十分	外国人向けの対応が 不十分	ミュージアムショップ 等の充実が不十分	
	87.2	81.3	84.9	
2	財政面の厳しい状況	職員不足	外国人向けの対応が 不十分	
	83.1	78.0	83.8	
3	ICTを利用した 新展示方法の未導入	ICTを利用した 新展示方法の未導入	ICTを利用した新展 示方法の未導入調査 研究活動が不十分	
	82.0	78.0	80.5	
4	収蔵スペースが不足 施設が手狭	財政面の厳しい状況	財政面の厳しい状況	
	80.7	76.5	77.7	
5	職員不足	ウェブサイト等を 使った資料情報公開 が不十分	ウェブサイト等を 使った資料情報公開 が不十分	
	79.4	75.0	77.6	
6	施設設備の老朽化	必要な資料整理が 進まない	施設設備の老朽化	
	79.3	72.0	74.4	
7	ウェブサイト等を 使った資料情報公開 が不十分	収蔵スペースが不足	入館者の確保が 不十分	
	76.4	71.7	70.4	
8	必要な資料整理が 進まない	施設設備の老朽化	収蔵スペースが不足	
	76.4	70.1	68.3	
9	調査研究活動が 不十分	入館者の確保が 不十分	職員不足	
	75.9	67.5	69.5	
10	入館者の確保が 不十分	新たな資料 入手が困難	必要な資料整理が 進まない	
	75.7	65.3	68.1	

表 3 - 2 1 - 5 博物館界の問題点「Q 2 3 - 2」

項目	すぐくあてはまる とまああてはまる の合計 (%)	前回調査からの 増減 (%)
i) 国や地方公共団体の博物館振興策が十分ではない。	72.7	-0.8
k) 市民、国民が博物館を支援する体制ができていない。	70.9	-0.6
h) 日本の博物館の国際化が進んでいない。	60.0	0.3
g) 日本の博物館界と博物館界以外の連携・協力が十分ではない。	64.5	-1.7
e) 職員の能力開発が十分ではない。	62.1	2.3
a) 日本の博物館の国の指針・政策の方向性が明確に示されていない。 * 前回の設問：日本の博物館の将来像が明確になっていない。	60.0	-4.4
b) 博物館法等の法令が博物館の実情にあっていない。	59.0	3.6
c) 博物館登録制度が博物館の実情にあっていない。	57.8	-0.7
f) 日本の博物館界における相互の連携・協力が十分ではない。	56.3	-1.7
j) 博物館関係の各種協会・団体の活動が十分ではない。	54.0	-2.9
d) 学芸員養成制度に問題がある。	52.6	-3.2

表3-21-6 博物館界の問題点(館種別)「Q23-2」

(%)

館種 順位	総合 (N=129)	郷土 (N=248)	美術 (N=497)	歴史 (N=1,108)	自然史 (N=101)	理工 (N=102)	動物園 (N=41)	水族館 (N=44)	植物園 (N=34)	動水植 (N=10)
1	国や自治体の博物館振興策が不十分	市民・国民が博物館を支援する体制がない	市民・国民が博物館を支援する体制がない	国や自治体の博物館振興策が不十分	国や自治体の博物館振興策が不十分	国や自治体の博物館振興策が不十分	国や自治体の博物館振興策が不十分	国や自治体の博物館振興策が不十分	国や自治体の博物館振興策が不十分	市民・国民が博物館を支援する体制がない
	83.8	82.2	77.1	71.6	73.3	68.6	80.5	65.9	52.9	70.0
2	市民・国民が博物館を支援する体制がない	国や自治体の博物館振興策が不十分	国や自治体の博物館振興策が不十分	市民・国民が博物館を支援する体制がない	市民・国民が博物館を支援する体制がない	国際化が進んでいない	国の指針・政策の方向性が不明確	国際化が進んでいない	市民・国民が博物館を支援する体制がない	博物館外との連携・協力が不十分
	82.2	74.6	73.9	67.4	73.3	69.6	73.1	61.3	50.0	70.0
3	国際化が進んでいない	博物館外との連携・協力が不十分	博物館外との連携・協力が不十分	国際化が進んでいない	職員の能力開発が不十分	市民・国民が博物館を支援する体制がない	国際化が進んでいない	市民・国民が博物館を支援する体制がない	博物館外との連携・協力が不十分	博物館界における相互連携・協力が不十分
	75.2	66.1	66.8	64.8	66.3	65.7	68.3	56.9	47.1	70.0
4	国の指針・政策の方向性が不明確	職員の能力開発が不十分	国際化が進んでいない	博物館外との連携・協力が不十分	国際化が進んでいない	博物館外との連携・協力が不十分	市民・国民が博物館を支援する体制がない	博物館法等法令が実態に合っていない	博物館法等法令が実態に合っていない	国や自治体の博物館振興策が不十分
	74.4	65.3	65.0	64.1	62.4	65.7	68.3	56.8	44.2	60.0
5	博物館法等法令が実態に合っていない	国の指針・政策の方向性が不明確	職員の能力開発が不十分	職員の能力開発が不十分	国の指針・政策の方向性が不明確	国の指針・政策の方向性が不明確	博物館法等法令が実態に合っていない	博物館外との連携・協力が不十分	国の指針・政策の方向性が不明確	国の指針・政策の方向性が不明確
	72.9	64.9	63	61.7	61.4	59.8	65.9	52.3	44.1	80
6	博物館外との連携・協力が不十分	国際化が進んでいない	博物館法等法令が実態に合っていない	国の指針・政策の方向性が不明確	博物館関係の各協会・団体の活動が不十分	博物館法等法令が実態に合っていない	博物館外との連携・協力が不十分	国の指針・政策の方向性が不明確	博物館登録制度が実態に合っていない	博物館法等法令が実態に合っていない
	72.1	64.5	61.0	58.0	59.4	57.9	65.8	52.2	41.2	50.0
7	博物館登録制度が実態に合っていない	博物館法等法令が実態に合っていない	国の指針・政策の方向性が不明確	博物館登録制度が実態に合っていない	博物館外との連携・協力が不十分	職員の能力開発が不十分	博物館登録制度が実態に合っていない	博物館界における相互連携・協力が不十分	国際化が進んでいない	博物館登録制度が実態に合っていない
	71.3	60.0	58.8	57.3	56.5	57.8	61.0	52.2	35.3	50.0
8	学芸員養成制度に問題がある	博物館登録制度が実態に合っていない	博物館登録制度が実態に合っていない	博物館法等法令が実態に合っていない	博物館登録制度が実態に合っていない	博物館登録制度が実態に合っていない	職員の能力開発が不十分	博物館関係の各協会・団体の活動が不十分	博物館界における相互連携・協力が不十分	職員の能力開発が不十分
	68.2	57.4	57.8	57.1	56.4	54.0	58.5	51.0	38.3	50.0
9	職員の能力開発が不十分	博物館界における相互連携・協力が不十分	学芸員養成制度に問題がある	博物館界における相互連携・協力が不十分	博物館法等法令が実態に合っていない	博物館界における相互連携・協力が不十分	博物館界における相互連携・協力が不十分	博物館登録制度が実態に合っていない	博物館関係の各協会・団体の活動が不十分	国際化が進んでいない
	68.2	57.3	56.6	56.7	56.4	51.9	53.7	50.0	32.4	30.0
10	博物館界における相互連携・協力が不十分	博物館関係の各協会・団体の活動が不十分	博物館界における相互連携・協力が不十分	博物館関係の各協会・団体の活動が不十分	博物館界における相互連携・協力が不十分	学芸員養成制度に問題がある	博物館関係の各協会・団体の活動が不十分	職員の研修が不十分	職員の能力開発が不十分	博物館関係の各協会・団体の活動が不十分
	64.3	55.3	56.0	54.2	53.5	47.1	51.2	50.0	32.3	30.0
11	博物館関係の各協会・団体の活動が不十分	学芸員養成制度に問題がある	博物館関係の各協会・団体の活動が不十分	学芸員養成制度に問題がある	学芸員養成制度に問題がある	博物館関係の各協会・団体の活動が不十分	学芸員養成制度に問題がある	学芸員養成制度に問題がある	学芸員養成制度に問題がある	学芸員養成制度に問題がある
	59.7	52.8	54.7	51.3	51.4	46.1	41.4	43.1	26.5	20.0

表3-21-7 博物館界の問題点（設置者別）「Q23-2」

（%）

館種 順位	国立 (N=63)	都道府県立 (N=343)	市立 (N=1,003)	町村立 (N=312)	公益法人 (N=425)	会社個人等 (N=168)
1	市民・国民が博物館を支援する体制がない	国や自治体の博物館振興策が不十分	国や自治体の博物館振興策が不十分	国や自治体の博物館振興策が不十分	国や自治体の博物館振興策が不十分	市民・国民が博物館を支援する体制がない
	71.4	76.4	77.6	70.8	64.7	63.7
2	国や自治体の博物館振興策が不十分	市民・国民が博物館を支援する体制がない	市民・国民が博物館を支援する体制がない	市民・国民が博物館を支援する体制がない	市民・国民が博物館を支援する体制がない	国や自治体の博物館振興策が不十分
	69.9	73.5	74.9	68.6	63.8	61.9
3	国際化が進んでいない	国際化が進んでいない	国際化が進んでいない	職員の能力開発が不十分	国際化が進んでいない	博物館外との連携・協力が不十分
	65.1	72.0	68.7	60.9	59.0	58.4
4	博物館外との連携・協力が不十分	博物館外との連携・協力が不十分	博物館外との連携・協力が不十分	国の指針・政策の方向性が不明確	職員の能力開発が不十分	国の指針・政策の方向性が不明確
	65.0	69.3	67.7	60.6	56.7	54.2
5	職員の能力開発が不十分	博物館法等法令が実態に合っていない	職員の能力開発が不十分	国際化が進んでいない	国の指針・政策の方向性が不明確	博物館界における相互連携・協力が不十分
	65.0	63.2	66.8	58.1	54.1	53.0
6	博物館法等法令が実態に合っていない	国の指針・政策の方向性が不明確	博物館法等法令が実態に合っていない	博物館外との連携・協力が不十分	博物館法等法令が実態に合っていない	博物館法等法令が実態に合っていない
	58.8	63.0	62.4	58.0	53.6	51.3
7	博物館登録制度が実情に合っていない	職員の能力開発が不十分	国の指針・政策の方向性が不明確	博物館法等法令が実態に合っていない	博物館登録制度が実情に合っていない	博物館登録制度が実情に合っていない
	58.7	62.4	62.5	55.5	51.8	50.6
8	国の指針・政策の方向性が不明確	博物館登録制度が実情に合っていない	博物館登録制度が実情に合っていない	博物館界における相互連携・協力が不十分	博物館界における相互連携・協力が不十分	職員の能力開発が不十分
	57.1	62.4	61.3	54.2	51.5	48.3
9	学芸員養成制度に問題がある	博物館界における相互連携・協力が不十分	博物館界における相互連携・協力が不十分	博物館登録制度が実情に合っていない	博物館外との連携・協力が不十分	博物館関係の各協会・団体の活動が不十分
	55.5	57.7	59.5	53.5	51.4	47.6
10	博物館界における相互連携・協力が不十分	博物館関係の各協会・団体の活動が不十分	学芸員養成制度に問題がある	博物館関係の各協会・団体の活動が不十分	博物館関係の各協会・団体の活動が不十分	国際化が進んでいない
	52.4	55.7	59.3	51.3	49.4	45.4
11	博物館関係の各協会・団体の活動が不十分	学芸員養成制度に問題がある	博物館関係の各協会・団体の活動が不十分	学芸員養成制度に問題がある	学芸員養成制度に問題がある	学芸員養成制度に問題がある
	49.2	54.8	57.7	49.4	47.8	42.8

表3-21-8 博物館界の問題点（法区分別）「Q23-2」

館種 順位	登録 (N=632)	相当 (N=268)	類似 (N=1,414)	(%)
1	国や自治体の博物館 振興策が不十分	市民・国民が 博物館を支援する 体制がない	国や自治体の博物館 振興策が不十分	
	79.9	77.6	68.8	
2	国際化が 進んでいない	国や自治体の博物館 振興策が不十分	市民・国民が 博物館を支援する体 制がない	
	73.4	76.8	67.2	
3	博物館外との連携・ 協力が不十分	国際化が 進んでいない	博物館外との連携・ 協力が不十分	
	69.8	66.8	61.9	
4	職員の能力開発が 不十分	博物館外との連携・ 協力が不十分	国際化が 進んでいない	
	68.5	66.1	60.8	
5	博物館法等法令が 実態に合っていない	博物館法等法令が 実態に合っていない	職員の能力開発が 不十分	
	64.1	63.8	59.1	
6	国の指針・政策の 方向性が不明確	国の指針・政策の 方向性が不明確	国の指針・政策の 方向性が不明確	
	63.6	62.3	57.9	
7	学芸員養成制度に 問題がある	職員の能力開発が 不十分	博物館登録制度が 実情に合っていない	
	59.8	61.9	57.3	
8	物館界における相互 連携・協力が不十分	博物館登録制度が 実情に合っていない	博物館法等法令が 実態に合っていない	
	58.7	60.8	55.8	
9	博物館関係の各協 会・団体の活動が 不十分	博物館関係の各協 会・団体の活動が 不十分	博物館界における相互 連携・協力が 不十分	
	58.3	55.6	55.8	
10	市民・国民が 博物館を支援する 体制がない	学芸員養成制度に 問題がある	博物館関係の各協 会・団体の活動が 不十分	
	57.7	53.8	51.8	
11	博物館登録制度が 実情に合っていない	博物館界における相互 連携・協力が不十分	学芸員養成制度に 問題がある	
	57.4	53.7	49.1	